

**平成 28 年度
清水町社会福祉協議会事業報告書**

社会福祉法人 清水町社会福祉協議会

平成 28 年度清水町社会福祉協議会事業報告

平成 28 年度の清水町社会福祉協議会は、平成 25 年度から第 4 次地域福祉活動計画に沿って、町の行政計画（地域福祉計画）と共に、「誰もが住み慣れたまちで、楽しく豊に暮らせるまちづくり」を構築するため、関係機関・団体との連携を深め、地域住民の協力を得ながら事業を展開してきました。

少子高齢化の進行に伴い、地域社会や家族の変化等を背景に生活・福祉課題が多様化・複雑化しており、地域包括ケアシステムの確立や介護予防の充実、生活困窮者の支援など新たな課題に対し、見守り支え合い活動の強化、日常生活自立支援事業の推進、生活困窮者への包括的相談を行いました。

また、社会福祉法人制度改革に伴い、定款の変更、規程の整備、新評議員の選任等、法人組織の統治体制づくりを推進しました。

町からの受託業務（地域包括支援センター事業、放課後児童健全育成事業）及び経営事業（介護保険事業、就労継続支援 B 型事業）においても円滑な運営を行い、住民の社会福祉の増進とサービスの向上に努めました。

1. 社協事務局関係（地域福祉・ボランティア活動等）の事業

○ 社協事務局の主な行事内容

年 月 日	行 事 名	場 所
平成 28 年 4 月 13 日	共同募金委員会監査	町福祉センター
4 月 14 日	赤十字社員増強運動打ち合わせ会	静岡市 日赤県支部
4 月 18 日	県慰霊者追悼式（春季）参列	静岡市 護国神社
4 月 21 日	町シニアクラブ連合会総会	町福祉センター
4 月 25 日	シニアクラブ担当者会議	沼津市 市民文化センター
4 月 26 日	赤十字実務担当者会議	静岡市 日赤県支部
4 月 27 日	町身体障害者福祉会総会	町福祉センター
4 月 27 日	町手をつなぐ育成会総会	町福祉センター
4 月 28 日	市町社協事務局長会議	静岡市 県総合社会福祉会館
5 月 8 日	町ひとり親会総会	町福祉センター
5 月 10 日	社協監査	町福祉センター
5 月 19 日	町赤十字奉仕団総会	町福祉センター
5 月 23 日	第 1 回理事会・第 1 回評議員会	町福祉センター
5 月 25 日	災害ボランティアコーディネーター町連絡会総会	町福祉センター
5 月 26 日	県社協会計相談	静岡市 県総合社会福祉会館
5 月 26 日	手話通訳者派遣事業担当者研修会	静岡市 県総合社会福祉会館
5 月 27 日	沼津地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	沼津市 沼津合同庁舎
5 月 29 日	災害 V C 研修会（トリアージ）	町シニアセンター
6 月 6 日	町ボランティア連絡会総会	町福祉センター
6 月 6 日	日常生活自立支援事業新任専門員研修会	静岡市 県総合社会福祉会館
6 月 8 日	第 2 回評議員会	町福祉センター

年 月 日	行 事 名	場 所
6月13日	社協会長表彰審査委員会	町福祉センター
6月17日	郡社協合同役員会及び研修会	町福祉センター
6月22日	第1回裾野市・長泉町・清水町福祉有償運送運営協議会	町役場
6月22日	生活困窮者自立支援東部地区担当者会議	沼津市 サンウェルぬまづ
6月23日	市町社協会計実務研修会	静岡市 男女共同参画センターあざれあ
6月23日	町遺族会総会	町福祉センター
6月28日	第19回町社会福祉大会	町福祉センター
6月30日	大規模災害発生時における災害V活動を考える集い	裾野市文化センター
7月1日	手話通訳者派遣事業運営委員会	町福祉センター
7月2日	介護予防ボランティア養成講座への協力	町保健センター
7月4日	市町手話通訳派遣事業に係る連絡調整会議	沼津市 県健康福祉センター
7月8～10日	社協事務所引越し（仮事務所へ）	町福祉センター
7月8日	介護予防ボランティア養成講座へ協力	町保健センター
7月25日	夏休み小・中学生福祉体験学習（手話講座）	町防災センター
7月25日	安全運転管理者講習会	沼津市 プラサヴェルデ
7月27日	夏休み小学生親子福祉体験学習（認知症サポーター養成講座）	町保健センター
8月1日	夏休み小学生福祉体験学習（点字講座）	町役場
8月3日	夏休み小学生福祉体験学習（ホームアローン）	町防災センター
8月3日	町新しい地域支援を考えるフォーラム実行委員会	町役場
8月4～5日	小中学校教員初任者及び10年研修受け入れ	柿田川作業所
8月15日	町戦没者を追悼し平和を祈念する式典への協力	町地域交流センター
8月18～23日	夏休み中学生体験ボランティア受け入れ（柿田川作業所）	柿田川作業所
8月18～24日	夏休み中学生体験ボランティア受け入れ（放課後児童教室）	放課後児童教室3教室
8月22日	社会福祉法人制度改革対応セミナー	静岡市 グランシップ
8月25日	東部ブロック市町社協連絡会	下田市 市民文化会館
8月28日	町災害ボランティア本部立ち上げ訓練（町総合防災訓練への参加）	清水中学校
8月29日	県社協日常生活支援事業訪問	町シニアセンター
9月3日	町敬老会への協力	卸団地 沼津卸商社センター展示場
9月6日	第38回町ふれあい広場実行委員会（第1回）	町役場
9月14日	社会福祉法人制度改革説明会	静岡市 県総合社会福祉会館
9月16日	税務実務研修	静岡市 静岡労政会館
9月21日	町新しい地域支援を考えるフォーラム実行委員会	町役場
9月27日	生活福祉資金訪問調査	町内
9月27日	県社協平成28年度地域福祉を考えるブロック会議	沼津市 県健康福祉センター
9月29日	社会福祉法人制度改革説明会	静岡市 男女共同参画センターあざれあ
9月30日	第2回理事会・第3回評議員会	町シニアセンター／町保健センター
10月3日	赤い羽根街頭募金	サントムーン柿田川ほか
10月4日	日赤訪問確認調査	町シニアセンター
10月7日	県健康福祉大会	静岡市 市民文化会館
10月11日	生活困窮者自立支援東部地区担当者会議	長泉町 町福祉会館
10月14日	第38回町ふれあい広場実行委員会（第2回）	町役場
10月17日	予算管理講座	静岡市 グランシップ

年 月 日	行 事 名	場 所
10月18日	社協中間監査	町シニアセンター
10月25日	南中学校総合学習第1日目(認知症講座)	町立南中学校
10月26日	介護予防ボランティア養成講座へ協力	町保健センター
10月28日	障害者自立支援協議会準備会	町役場
11月1～2日	第1回生活支援コーディネーター研修会	沼津市 プラサヴェルデ
11月1日	南中学校総合学習第2日目(災害講座)	町立南中学校
11月2日	町ボランティア交流会	富士宮方面
11月11日	町監査	町シニアセンター
11月14日	就労支援事業経理講座	静岡市 静岡労政会館
11月15日	市町社協トップセミナー	静岡市 グランドホテル中島屋
11月15日	南中学校総合学習第3日目(点字講座)	町立南中学校
11月16日	生活困窮者事業従事者養成研修	静岡市 県教育会館
11月19日	第38回町ふれあい広場前日準備	沼津卸商社センター展示場
11月20日	第38回町ふれあい広場	沼津卸商社センター展示場
11月22日	日赤地区区分区担当者会議	静岡市 日赤県支部
11月24日	町新しい地域支援を考えるフォーラム実行委員会	町役場
11月25日	東部地域災害ボランティア連絡会	沼津市 サンウェルぬまづ
11月26日	赤十字救急法	静岡市 グランシップ
11月28日	社会福祉法人制度改革対応セミナー	静岡市 グランシップ
12月1日	町新しい地域支援を考えるフォーラム	町地域交流センター
12月13日	歳末施設慰問	富士・御殿場・伊豆方面
12月14日	生活困窮者学習支援運営委員会	長泉町 さつき園
12月16日	第38回町ふれあい広場実行委員会(第3回)	町役場
12月16日	財務管理講座	静岡市 静岡労政会館
12月22日	第3回理事会・第4回評議員会	町シニアセンター/町保健センター
12月27日	第1回福祉センター運営委員会	町シニアセンター
平成29年1月10日	社会福祉法人制度改革施行説明会	静岡市 県総合社会福祉会館
1月10日	市民後見人広域連携協議会	沼津市 プラサヴェルデ
1月19日	生活福祉資金研修会	静岡市 県総合社会福祉会館
1月28日	第1回町医療・介護連携推進会議	町役場
1月30～31日	第2回生活支援コーディネーター研修会	沼津市 プラサヴェルデ
2月1日	決算実務研修	静岡市 県総合社会福祉会館
2月7日	県南駿地域総合防災訓練全体説明会	裾野市 市民文化センター
2月8日	新しい地域支援を考える勉強会	町役場
2月9日	新しい地域支援を考える勉強会	町役場
2月18日	動機づけ面接を身につける相談技法研修会	静岡市 静岡商工会議所
2月21日	県社協会計相談	静岡市 県総合社会福祉会館
2月23日	生活困窮者自立支援コンソーシアム運営委員会	静岡市 県総合社会福祉会館
2月23日	障害者自立支援協議会準備会	町保健センター
2月24日	社会福祉法人指導監督研修会	静岡市 産業経済会館
2月28日	第4回理事会	町シニアセンター
2月28日	モデル経理規程説明会	静岡市 産学交流センター

年 月 日	行 事 名	場 所
3月2日	郡社協幹事会及び職員研修会	町シニアセンター
3月4～5日	災害VC図上訓練	静岡市 労政会館
3月10日	評議員選任・解任委員会	町シニアセンター
3月15日	認知症サポーター養成講座	町保健センター
3月17日	生活困窮者自立相談支援事業従事者養成研修	静岡市 県総合社会福祉会館
3月18～20日	社協事務所引越し（新事務所へ）	町福祉センター
3月22日	第2回福祉センター運営委員会	町福祉センター
3月27日	介護予防ボランティア養成研修フォローアップ教室への協力	町保健センター
3月29日	第5理事会・第5回評議員会	町福祉センター
3月29日	共同募金助成金交付説明会	静岡市 県総合社会福祉会館

○ 理事会・評議員会の開催

〈理事会〉

- 第1回 平成28年5月23日（月）
- 第2回 平成28年9月30日（金）
- 第3回 平成28年12月22日（木）
- 第4回 平成29年2月28日（火）
- 第5回 平成29年3月29日（水）

〈評議員会〉

- 第1回 平成28年5月23日（月）
- 第2回 平成28年6月8日（水）
- 第3回 平成28年9月30日（金）
- 第4回 平成28年12月22日（木）
- 第5回 平成29年3月29日（水）

〈評議員選任・解任委員会〉

平成29年3月10日（金）

○ 啓発活動

社協の業務パンフレット、福祉センター会館パンフレット、ボランティア紹介パンフレット、社協だより、社協ホームページ、地域包括ケアシステム啓発用クリアファイル及びポケットティッシュ等を活用して、社協の行事案内、事業報告、福祉情報の提供、福祉への理解、福祉センターの利用促進、住民の福祉活動への参加など、啓発活動を図った。

○ 社協だよりの発行

町民に対する福祉啓発を促進するため、『社協だより』を3回発行した。（全戸配布）

- | | | |
|-----|--------------|-------|
| 発行日 | 平成28年6月15日発行 | 第114号 |
| | 平成28年9月15日発行 | 第115号 |
| | 平成29年2月15日発行 | 第116号 |

○ **第 19 回町社会福祉大会の開催**

6月28日、社協役員、民生児童委員、ボランティア、各種福祉関係者等約120名の参加のもと、社会福祉大会が盛大に開催され、社会福祉への功労者に対し顕彰を行った。また、第2部ではNPO法人「たすけあい遠州」代表理事稲葉ゆり子氏を招き、『地域に根ざした居場所づくり』～袋井駅前の「もう一つの家」から学ぶ～と題し、記念講演を行った。

○ **第 38 回町ふれあい広場の開催**

平成 28 年 9 月 6 日	(第 1 回) ふれあい広場実行委員会
10 月 14 日	(第 2 回) ふれあい広場実行委員会
11 月 19 日	前日の準備
11 月 20 日	広場当日
12 月 16 日	(第 3 回) ふれあい広場実行委員会

○ **区長会・民生児童委員協議会との連携**

区長・民生児童委員との協力関係を確立し、情報交換、協力依頼、ケース検討等を行った。

- ・ 必要に応じて、定例区長会へ出席した。
- ・ 必要に応じて、月に1回の定例民生児童委員協議会へ出席した。

○ **福祉団体に対する支援**

当事者団体の組織の強化と支援を目的に、下記の当事者団体と連携し協力をはかりながら団体が持つニーズの把握や組織強化に協力した。

(支援福祉団体名)

- 【シニアクラブ連合会】 【手をつなぐ育成会】 【身体障害者福祉会】 【ひとり親の会】
【遺族会】 【清霊奉賛会】

○ **社協登録ボランティアへの支援**

ボランティア活動を始めたい人(団体)、ボランティアを必要としている人(団体)へボランティア活動をする上での相談に応じた。

登録ボランティアの育成、支援並びにボランティアの活性化とニーズの把握、需給調整に努めた。

○ **清水町ボランティア連絡会登録数(平成29年3月31日現在)**

清水町ボランティア連絡会登録ボランティアグループ数	19 グループ
ボランティア連絡会登録数	316 人

○ 清水町社協登録ボランティア数（平成 29 年 3 月 31 日現在）

清水町社協登録数ボランティアグループ数	20 グループ	322 人（延べ人数）
個人ボランティア数		8 人
計		330 人（延べ人数）

○ 清水町ボランティア連絡会の活動支援

ボランティア活動が円滑にすすめられるよう、また、グループ同士の情報交換、ニーズ把握、需給調整の場としてボランティア連絡会代表者会議を開催した。

〈ボランティア連絡会の主な行事〉

- ① 交流情報交換 ② 育成研修 ③ 関係機関、団体との連携（当事者団体、施設との懇談）
④ 調査・研究 ⑤ 高齢者支援ネットワーク連絡調整会議

代表者会議	年 5 回
役員会	年 4 回
総会	年 1 回
介護予防ボランティア養成講座への協力	平成 28 年 7 月 2 日 10 月 26 日
ボランティア交流会	平成 28 年 11 月 2 日
県ボランティア研究集会への参加	平成 29 年 2 月 12 日

○ ボランティアグループへの活動助成

ボランティア活動中の不慮の事故に備え、安心してボランティア活動ができるよう、社協登録ボランティアに対し、ボランティア活動保険料を負担した。

また、円滑な活動ができるようボランティアグループへ活動費を助成した。

平成 29 年度 3 月末日までの ボランティア保険への助成（社協負担のみ）	325 人	99,970 円
---	-------	----------

○ 福祉教育の推進（助成金交付）

児童・生徒へ思いやりや、やさしい心遣いを理解していただくため、町内の小・中学校を当社協指定の福祉教育実践校として位置づけ、福祉教育事業を推進した。

また、各指定校においては、各学校単位で総合的な学習や体験学習などに取り組み、社協は活動プログラムの提供や関係機関との調整などで協力した。

学校名	福祉教育実践校事業助成金として
清水小学校	50,000 円助成する。
南小学校	50,000 円助成する。
西小学校	50,000 円助成する。
清水中学校	50,000 円助成する。
南中学校	50,000 円助成する。

○ 福祉教育の推進（体験学習の充実）

小・中学校の夏休みを利用して、体験プログラムを幅広く開催した。

小学生

- 1) 『手話ミニミニ講座』・・・ろう者及び手話サークルの方を講師に招き、初心者にもわかるような簡単なあいさつや自己紹介等の手話表現を学ぶ。
開催日 7月25日

参加者	清水小学校	4人	南小学校	9人	西小学校	4人	父兄 10人	
							計	27人

- 2) 『認知症サポーター養成講座』・・・「認知症とはどういうものか」を学習し、高齢者との接し方やサポーターとしての心構えを学ぶ。
開催日 7月27日

参加者	清水小学校	1人	南小学校	7人	西小学校	2人	父兄 6人	
							計	16人

- 3) 『点字ミニミニ講座』・・・清水町盲人会の協力で点字の打ち方、読み方等を体験し、点字についての基礎を学ぶ。
開催日 8月1日

参加者	清水小学校	0人	南小学校	4人	西小学校	5人	父兄 6人	
							計	15人

- 4) 『災害時ホームアローン講座』・・・災害発生時に自分の身を守る方法を学習し、身近なものを使った防災用品作りを体験する。
開催日 8月3日

参加者	清水小学校	13人	南小学校	19人	西小学校	3人	計	35人
-----	-------	-----	------	-----	------	----	---	-----

中学生

- 1) 『福祉センター内柿田川作業所』・・・作業の手伝いと障がいをもつ方との交流を行った。

開催日	8月18日～23日 土日を除く(計3日)、8月22日は台風で中止					
参加者	清水中学校	延べ5人	南中学校	延べ2人	計	延べ7人

- 2) 『各小学校放課後児童教室』・・・小学校が夏休みの間、放課後児童教室を利用する児童との交流を中心としたボランティア活動を行った。

開催日	8月18～24日 土日を除く(計4日)、8月22日は台風で中止					
場 所	清水小学校教室					
参加者	清水中学校	延べ7人	南中学校	参加者なし	計	延べ7人

開催日	8月18～24日 土日を除く(計4日)、8月22日は台風で中止					
場 所	南小学校教室					
参加者	清水中学校	参加者なし	南中学校	延べ8人	計	延べ8人

開催日	8月18～24日 土日を除く(計4日)、8月22日は台風で中止					
場 所	西小学校教室					
参加者	清水中学校	延べ8人	南中学校	参加者なし	計	延べ8人

○ 総合学習の協力

学校教育の中で、福祉教育のプログラム提供や地域住民との交流を図った。

南中学校

「地域の専門家から学ぼう」と題し、地域の福祉専門職を招き、学習を行う。

開催日	交流内容	参加人数	協力者
10月25日	認知症サポーター養成講座	22名	キャラバン・メイト、役場長寿介護課、地域包括支援センター
11月1日	災害講座	23名	災害VC清水町連絡会
11月15日	点字講座	23名	町盲人会、点字ボランティア

○ 安心地域ささえあいネットワーク事業の推進

地域のささえあい体制を構築し、地域包括ケアシステム構築の足がかりとして、「清水町安心地域ささえあいネットワーク事業」を県社協みんなで支える地域福祉促進事業の助成を受け実施した。具体的には、地域支援者に協力を仰ぎ、要援護者の自宅を訪問し、声掛け、見守り、ささえあい活動を通じて、要援護者の安否確認、課題発見とその対応及び制度で解決できないニーズの把握等を行った。

登録者	38名
地域支援員	8名

- ※ 12月1日、町地域交流センターで行われた清水町新しい地域支援を考えるフォーラムにおいて、本事業のPRを行った。
- ※ 平成29年2月8～9日、町役場に行われた、新しい地域支援を考える勉強会において、本事業のPRを行った。

○ 認知症地域支援研修の開催

認知症に対して正しい知識をもち、認知症の人やその家族を温かく見守り、支援する人を増やすため、認知症サポーター養成講座を開催した。

開催日	会場	参加人数	対象者等
平成28年7月27日	町保健センター	16人(子ども10人・保護者6人)	小学生親子
9月23日	町交流センター	78人	清水町シニアクラブ連合会
10月25日	南中学校	22人	中学校3年生
平成29年3月15日	町保健センター	11人	一般住民

○ 福祉・看護実習生等の受け入れ

県立東部看護専門学校、町内小中学校教員新任研修の受け入れを行った。

学校名	受け入れ延べ日数	受入れ人数	受け入れ延べ人数
県立東部看護専門学校	2日	2人	4人
町内小中学校教員新任研修	2日	7人	14人
町内小中学校教員10年従事者研修	2日	1人	2人
計	6日	10人	20人

○ 町シニアクラブ連合会の活動支援

清水町シニアクラブ連合会が自主的に行った各種事業・活動に対し、側面的な支援を行った。

(平成28年4月1日)

単位シニアクラブ数	20単位クラブ
会員数	1,235人

○ 文化祭の参加者数

6月14～15日	230人
----------	------

○ シニアセンター『センター利用日』利用人数

シニアセンターかわせみホールで開催している『センター利用日』は、福祉センター大規模改修工事に伴い、7月以降休止した。

(延べ利用者数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
117人	319人	102人	休止	休止	休止	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
休止	休止	休止	休止	休止	休止	538人

○ スポーツ大会の参加者数

グラウンドゴルフ大会	5月19日	160人
輪投げ大会	6月23日	160人
ペタンク大会	9月26日	63人
スポーツ大会	10月20日	506人

○ 趣味の会舞台発表会

福祉センター大規模改修工事のため、新春演芸大会を中止とし、代替行事として「趣味の会舞台発表会」を町地域交流センターにて開催した。

平成29年2月27日	250人
------------	------

○ 趣味の会クラブ活動

平成28年度趣味の会の活動場所は、福祉センター大規模改修工事により、福祉施設「希望のわだち柿田」の2階を借用して活動した。

平成28年度の実績は、268回。延べ8,259人が活動した。

趣味の会クラブ名	会員数(人)	毎月の活動日(回)	年回数	年活動人数
書道部	13	2	23	299
歌謡部	106	2	13	1,378
舞踊部	16	2	24	384
すこやか体操部	16	2	23	368
手芸部	21	2	23	483
ウォーキング部	77	1	12	924
俳句部	11	1	12	132
盆栽・山草部	14	2	23	322
囲碁・将棋部	27	4	43	1,161
万葉集を学ぶ	27	1	12	324
伝承あそび部	15	1	12	180
レクリエーションダンス部	76	2	24	1,824
リフォーム部	20	2	24	480
計	439	24	268	8,259

○ 社会福祉協議会の会費

社協の財源は、町民の方々に会員になっていただく一般会費、法人の賛助会費、町補助金、委託金、並びに共同募金からの配分金及び善意の寄付金などで事業運営を図っている。社協会費については、区長会及び各区支部長の協力を得て、毎年5～8月にかけて、会員の増強及び会費の集金をお願いした。

社協会費 一般会費	3,357,400 円
賛助会費 (特別寄付者)	592,500 円
計	3,949,900 円

○ 共同募金運動・赤十字社資運動

1) 赤い羽根の共同募金運動

共同募金運動は、地域福祉の推進を目的とする多様な活動を、財源面から支援する役割を果たしている。清水町においても自治会、民生児童委員、ガールスカウト等の協力を得て、以下の募金額を集めることができた。また、街頭募金の実施については下記のとおりである。

一般募金及び街頭募金	2,797,778 円
法人募金	517,000 円
計	3,314,778 円

街頭募金 日 時 平成 28 年 10 月 3 日

会 場 ● 大東紡エステート(株) サントムーン柿田川
● エンチョー(株) ホームアシスト ● 食遊市場
● カドイケ 徳倉店 ● マックスバリュ清水町徳倉店

2) 歳末たすけあい運動

共同募金運動の一環として、12月1日から同月末日までの期間に、民生児童委員が主体となり実施され、各方面より格別なる協力を得て多額の援護金が寄せられた。これらの浄財は、要援護者へ共同募金会の配分決定に従い、厳正な配分を行った。

歳末募金額	1,906,971 円
-------	-------------

3) 日赤社資の募集

日本赤十字社清水町分区事業の事務を受け持つ社会福祉協議会では、赤十字の“人道・博愛”の理念と思想に基づき、日赤社資の募集を実施し、赤十字活動の普及・推進に協力した。なお、集まった社資は日本赤十字社静岡県支部へ送金した。

一般社資	4,567,000 円
法人社資	327,000 円
計	4,894,000 円

○ 福祉総合相談状況

1) 総合相談・・・(開設時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00)

- ※ 相談は継続相談も含まれる。
- ※ 高齢者在宅介護相談・介護保険関係は、地域包括支援センター・居宅介護支援事業所において相談受け及び対応をした。
- ※ 障害者相談は、障害者総合相談で受付及び対応をした。

相談内容	受付件数
心配ごと	3
ボランティア関係	25
福祉体験	0
生活・貸付相談	10
結婚相談	0
福祉サービス	2
苦情 (会館管理含む)	0
その他	2
合計	42(ケース)

○ 生活福祉資金の貸付

生活困窮者に対し、経済的な自立を目的とした生活資金や就学資金等の貸付及び償還指導業務を実施した。

県社協生活福祉資金申込み受理のケース (平成 29 年 3 月末日までの貸付)

貸付資金名		貸付件数	貸付額合計
福祉資金	緊急小口資金	3	300,000 円
	転宅費	—	0 円
総合支援資金	生活支援費	—	0 円
	住居入居費	—	0 円
教育支援資金	就学支度費	—	0 円
	教育支援費	—	0 円
合計		3	300,000 円

※ 不動産担保型生活福祉資金 1 件

○ 小口資金の貸付

生活困窮者に対し、緊急または不時の出費を要するため、困窮している場合に、資金を貸付け、自立更生の助けになるよう償還指導業務を実施した。

(平成 29 年 3 月末日までの貸付)

貸付件数	貸付額合計
4	95,000 円

○ **日常生活自立支援事業相談（県社協受託事業）**

判断能力が不十分な人が家庭や地域において自立した生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理、通帳や証書等の管理を本人の意思を尊重しながら支援した。

（平成 29 年 3 月末日現在）

本事業相談・支援件数	132 件
契約締結数	0 件
実働件数	4 件
相談・支援体制	専門員 1 名、生活支援員 2 名

○ **生活困窮者自立相談支援事業（県受託事業）**

平成 27 年 4 月から「生活困窮者自立支援制度」が始まり、生活困窮者自立相談支援事業の実施主体である静岡県から自立相談支援機関として受託を受け、利用者の同意に基づき、生活に困窮する人が地域で自立した生活を送れるよう関係機関と連携を図りながら適切なサポートを行った。

（平成 29 年 3 月末日まで）

相談受付件数（本人同意がない場合も含む）	27 件
申込件数（本人同意ありのみ）	25 件
相談・支援体制	相談員 2 名
生活困窮者支援調整会議	9 回

○ **災害ボランティア本部立ち上げ訓練の実施**

災害が起きた場合に、被災者・被災地を支える多数のボランティアが全国各地から駆け付け、多様なニーズにあわせて、活動されることが予想されることから、災害ボランティアコーディネーターの協力を得て災害ボランティア本部の立ち上げ訓練を実施した。

災害ボランティア本部立ち上げ訓練日	第 1 回・・・平成 28 年 8 月 28 日 （東京都いたばし総合ボランティアセンター・世田谷大切な人を守りたい） の 2 団体と連携した。《会場：清水中学校》
-------------------	--

○ 町手話通訳者派遣事業（町受託事業）

聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者が健聴者との意思の疎通を図る目的で、手話通訳者派遣に関するコーディネートを行った。

手話通訳者数（有資格者） 7名（清水町外在住者6名・清水町在住者1名）

派遣対象の利用者数 6名（清水町在住者）

内訳

生命・健康	18件
官公署	0件
職業	12件
教育	0件
教養・自己	2件
住居	0件
地域生活	0件
団体活動	16件
その他	12件
コーディネート合計数	60件

○ 町要約筆記者派遣事業（町受託事業）

聴覚障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、要約筆記者派遣に関するコーディネートを行った。

要約筆記者（有資格者） 9名（清水町外在住者8名・清水町在住者1名）

コーディネート合計数 3件

2. ふれあい・いきいきサロン事業（町受託事業）

地域の公民館を活用し、ボランティア・関係機関の協力を得て、『ふれあい・いきいきサロン』を開催した。小地域のネットワークを図り、住民主体のふれあいの場となる居場所づくりを推進することができた。

年 月 日	実施場所	参加人数等	実施内容
平成28年4月22日	久米田区公民館	高齢者24名・協力者10名	フラダンス・頭の体操他
4月27日	柿田区公民館	高齢者33名・協力者21名	体操・語り芝居・合唱他
5月11日	外原区公民館	高齢者20名・協力者14名	体操・劇・紙芝居他
5月20日	シニアセンター	高齢者29名・協力者9名	体操・合唱・語り芝居他
6月17日	上徳倉区公民館	高齢者75名・協力者53名	劇・講話・音楽鑑賞会他
6月21日	防災センター	高齢者26名・協力者25名	体操・輪投げ・トーンチャイム演奏他
7月13日	本長沢区公民館	高齢者16名・協力者6名	ヨガ教室・カラオケ他
7月22日	新宿区公民館	高齢者35名・協力者6名	ハーモニカ演奏・頭の体操他
8月26日	八幡区公民館	高齢者30名・協力者10名	体操・フラダンス・消費生活講座他
8月30日	伏見区公民館	高齢者30名・協力者11名	体操・輪投げ・劇他
9月6日	戸畑区公民館	高齢者25名・協力者20名	トーンチャイム演奏・消費生活講座他
9月30日	長沢区公民館	高齢者34名・協力者14名	フラダンス・講話・カラオケ他
10月14日	下徳倉区公民館	高齢者34名・協力者16名	体操・合唱・健康講座他
10月24日	玉川区公民館	高齢者22名・協力者24名	体操・歌謡ショー・紙芝居他
11月11日	堂庭区公民館	高齢者37名・協力者10名	体操・人形劇・消費生活講座他
11月22日	外原区公民館	高齢者20名・協力者11名	クイズ・ヨガ教室・合唱他
12月2日	上徳倉区公民館	高齢者81名・協力者42名	歌謡ショー・紙芝居・クイズ他
12月9日	新宿区公民館	高齢者27名・協力者15名	トーンチャイム演奏・防犯講話他
平成29年1月12日	柿田区公民館	高齢者29名・協力者20名	体操・ハーモニカ演奏・消費生活講座他
1月26日	伏見区公民館	高齢者27名・協力者13名	体操・紙芝居・防犯講話他
2月17日	八幡区公民館	高齢者36名・協力者4名	歌謡ショー・クイズ・スカットボール他
2月24日	防災センター	高齢者27名・協力者24名	スカットボール・マンドリン演奏他
3月9日	下徳倉区公民館	高齢者35名・協力者22名	防災講座・フラダンス・輪投げ他
3月16日	長沢区公民館	高齢者34名・協力者15名	フラワーアレンジメント・消費生活講座他

いきいきサロン回数	24回
利用者数	786人
一回あたり平均	32人
延べ協力者数（ボランティア・民生児童委員等）	415人
サロン参加合計数	1,201人

3. 福祉センター会館管理事業（町受託事業）

○ 福祉センター会館管理運営事業

福祉センターは、平成28年7月～平成29年3月まで大規模改修工事を行ったため、部屋の貸し館業務、児童館運営、浴室営業、シニアセンターの運営等の会館管理業務は、平成28年4月～6月末日まで行った。

● 区分1 福祉センター利用状況（人）

区分	①児童館遊戯室			②会議室（3階） （会議室・団体室・和室）			③多目的ホール （入浴・カラオケ利用者を含まない）		
	開所日数	利用者数	1日あたり	開所日数	利用者数	1日あたり	開所日数	利用者数	1日あたり
4月	25	120	5	25	431	17	25	230	9
5月	23	89	4	23	554	24	23	203	9
6月	26	112	4	26	513	20	26	625	24
7月									
8月									
9月									
10月									
11月									
12月									
1月									
2月									
3月									
合計	74	321	4	74	1,498	20	74	1,058	14
区分	④柿田川作業所			⑤喫茶せせらぎ			合計		
月	開所日数	利用者数	1日あたり	開所日数	利用者数	1日あたり	利用者数合計		
4月	20	335	17	16	246	15	1,362		
5月	20	344	17	14	193	14	1,383		
6月	22	401	18	18	236	13	1,887		
7月	20	359	18				359		
8月	21	350	17				350		
9月	20	350	18				350		
10月	20	339	17				339		
11月	21	350	17				350		
12月	20	341	17				341		
1月	20	331	17				331		
2月	20	348	17				348		
3月	22	371	17				371		
合計	246	4,219	17	48	675	14	7,771		

● 区分2 シニアセンターの利用状況（人）

区分	①かわせみホール			②集会室			②2階居室 (和室1,2,3,4,5,・研修室)			④2階テラス		
	開所 日数	利用 者数	1日 あたり	開所 日数	利用 者数	1日 あたり	開所 日数	利用 者数	1日 あたり	開所 日数	利用 者数	1日 あたり
4月	25	443	18	25	83	3	25	145	6	25	10	0.4
5月	23	469	20	23	72	3	23	143	6	23	5	0.2
6月	26	868	33	26	278	11	26	367	14	26	10	0.4
7月				20	86	4	20	45	2	20	5	0.3
8月				22	94	4	22	103	5	22	5	0.2
9月				20	128	6	20	98	5	20	13	0.7
10月				20	140	7	20	113	6	20	14	0.7
11月				21	152	7	21	125	6	21	10	0.5
12月				19	117	6	19	111	6	19	6	0.3
1月				19	156	8	19	74	4	19	0	0
2月				20	175	9	20	79	4	20	11	0.6
3月				22	127	6	22	96	4	22	12	0.5
合計	74	1,780	24	257	1,608	6	257	1,499	6	257	101	0.4

区分	合計		
月	開所平均	利用者数	1日あたり
4月	25	681	27
5月	23	689	30
6月	26	1,523	59
7月	20	136	7
8月	22	202	9
9月	20	239	12
10月	20	267	13
11月	21	287	14
12月	19	234	12
1月	19	230	12
2月	20	265	13
3月	22	235	11
合計	257	4,988	19

● 区分3 お風呂の入浴者の利用状況（人）

区分 月	開所 日数	合計			
		男	女	計	1日 あたり
4月	25	987	756	1,743	70
5月	23	889	704	1,593	69
6月	26	985	747	1,732	67

● 区分4 貸室等利用料金の収入実績

区分	ホール・会議室等 利用料	入浴利用料	合計	四半期集計
4月	3,000	10,000	13,000	39,000
5月	6,500	10,000	16,500	
6月	0	9,500	9,500	
7月				
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				
合計	9,500	29,500	39,000	

4. 放課後児童健全育成事業（町受託事業）

町内の3小学校の1年生から6年生までの児童の中で、放課後に保護者が共働きの児童に対し、保護・指導を行った。

（平成29年3月31日現在）

○ 清水小学校（指導員数 3名）

開所日数	233日	児童数	1年生	男	12人
（内、夏・冬・春休みの開所日数33日）			1年生	女	13人
延べ出席者数	10,866人		2年生	男	11人
1日平均利用者数	47人		2年生	女	9人
（土曜日47日・562人を含む）			3年生	男	4人
長期休み延べ出席児童数	1,221人		3年生	女	2人
1日平均出席児童数	37人		4年生	男	5人
		4年生	女	3人	
			計	59人	

○ 南小学校（指導員数 5名）

開所日数	234日	児童数	1年生	男	16人
（内、夏・冬・春休みの開所日数32日）			1年生	女	11人
延べ出席者数	12,903人		2年生	男	18人
1日平均利用者数	55人		2年生	女	16人
			3年生	男	7人
長期休み延べ出席児童数	1,427人		3年生	女	3人
1日平均出席児童数	45人		4年生	男	4人
		4年生	女	0人	
			計	75人	

○ 西小学校（指導員数 4名）

開所日数	234日	児童数	1年生	男	16人
（内、夏・冬・春休みの開所日数33日）			1年生	女	11人
延べ出席者数	11,995人		2年生	男	11人
1日平均利用者数	51人		2年生	女	9人
			3年生	男	6人
長期休み延べ出席児童数	1,211人		3年生	女	5人
1日平均出席児童数	37人		4年生	男	1人
		4年生	女	4人	
		5年生	男	0人	
		5年生	女	1人	
			計	64人	

○ 土曜日の開所状況
(清水小学校で合同開催)

土曜日 3 小学校合同開所日数	47 日
延べ出席者数	562 人
1 日平均利用者数	12 人

○ ボランティアの協力

8 月 18 日～24 日	夏休み中学生ボランティア (3 小学校)
---------------	----------------------

○ 職員研修

10 月 28 日	東部地区放課後児童指導員研修会 (沼津市)
-----------	-----------------------

○ その他

※ 3 校指導員は、毎月 1 回の合同ミーティングを行った。

5. 地域包括支援センター事業（町受託事業）

清水町地域包括支援センターは、清水町在宅高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な相談援助を行うことにより、高齢者の福祉向上を包括的に支援することを目的として事業を実施した。事業の実施にあたっては、高齢者の心身の状況・環境等を考慮し、専門知識を生かして常に高齢者の立場に立った支援を行い、高齢者の意思及び人格が尊重され、高齢者の選択に基づき、福祉保健医療機関との連携を図り、総合的・効率的にサービスが提供されるよう公正中立の立場で調整を行った。平成28年度は、認知症高齢者の徘徊を未然に防ぐことの効果をあげるために利用者の申請書情報を12月に更新し、検索機関（49事業所）へ提供して見守りを依頼した。また、清水町高齢者支援ネットワークを活かし、「介護職員向け勉強会」（29名参加 NTT 東日本伊豆病院）を駿東田方地域リハビリ推進事業と共催した。基本チェックリスト未提出者の実態を把握するため、在宅福祉サービスの更新申請を代行するため、臨時職員1名を4ヶ月間配置した。

○ 主な事業

事業	内容	回数等
総合相談	・介護方法・介護機器・福祉サービス・介護予防サービス等の相談に対して助言・指導・サービス調整などを行った。また、必要に応じて、専門性を活かし3職種が協働してケースに対応した。	1,985件
実態把握	・高齢者支援係と打ち合わせし、平成25年度から27年度に実施した基本チェックリスト未提出者を臨戸訪問（210件）して、いきいき健康教室の案内と実態把握を行った。 ・「夫婦高齢者世帯リスト（高齢者支援係作成）」により、実態把握を臨戸訪問して行った。 ・総合相談や介護予防・生活支援事業の申請代行時など必要に応じて実態把握を行った。	576件
介護予防プラン作成	・要支援1・2の者が状態を改善・維持するために介護予防プランを作成した。	235件
在宅福祉サービス利用調査	・高齢者在宅福祉サービス（配食・紙おむつ給付等）の提供を決定するための調査を行った。	163件
啓発事業	・支援センターニュース（第17号11/1発行・第18号3/1発行ともに認知症について）を発行し、全戸配布した。 ・職員の写真を使用したパンフレットを作成し、訪問時やイベント時に配付した。 ・支援センターニュースを町内の医療機関・歯科医院・薬局の待合室と町の施設にバックナンバーとともに置いた。 ・保健委員会、シニアクラブ友愛訪問員研修、介護予防サポーター養成講座、認知症サポーター養成講座等で地域包括支援センター事業を案内した。	2回発行

	・地域包括ケアシステムのイメージと清水町地域包括支援センター連絡先を広めるためにクリアファイル・ティッシュを配布した。	
高齢者支援ネットワーク（地域ケア会議）	職種ごとの連絡会を開催した。また、行政と連絡会代表者の連絡調整会議を開催した。	別表 1
権利擁護に対する対応	・高齢者虐待防止対策会議・地域ケア個別ケース会議を設置し、虐待通報を受理した際は速やかに事実確認を行い、関係者と対応を協議した。 ・消費者被害の対応は町消費生活センターと連携し対応した。町消費生活センターが機能しているため、相談を受理し対応したのは年間 1 ケースであった。 ・判断能力が低下している高齢者には日常生活自立支援事業や成年後見制度を案内した。	27 件
ケアマネジャー支援	・ケアマネジャー連絡会において各種情報提供等を行った。 ・困難ケースをケアマネジャー等と協働で対応した。 ・主任ケアマネジャーの協力を得てケアマネジャー等を対象に勉強会を行った。	連絡会 12 回 39 件 3 回・57 名
在宅介護者のつどい	・情報交換や交流に加えて、介護教室（リハビリ・認知症介護・移動）・リフレッシュ（ヨガ教室・食事会）施設見学（ショートステイ）を行った。 ・年間の参加者は 53 人であった。	12 回
研修	職員の資質向上のために研修を受講した。	別表 2
その他	・介護保険適用外の在宅者に車いすを貸与した。 ・地域密着型サービス（10 事業所）運営推進会議に出席した。	54 件 27 回

別表 1

連絡調整会議 3 回

連絡会 37 回

連絡会名	回数
行政・地域包括支援センター連絡会	7 回
ケアマネジャー連絡会	12 回
ホームヘルプサービス連絡会	3 回
デイサービス・デイケア連絡会	3 回
施設入所・ショートステイ連絡会	3 回
ボランティア連絡会	1 回
民生児童委員協議会定例会	8 回

別表 2

研修名	日数
精神疾患の基礎知識	1日間
地域包括ケア推進に係る市町職員等研修会	1日間
介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	6日間
認知症研修会	1日間
顔の見える勉強会(岡村記念病院)	1日間
成年後見制度市町長申立(支援)に係る実務研修	1日間
在宅医療・介護連携相談研修会	1日間
高次脳機能障害ネットワーク研修	1日間
介護予防ケアマネジメント実務者研修	1日間
スーパービジョン研修	1日間

6. 就労継続支援B型事業 柿田川作業所

○ 利用者構成（平成29年3月31日現在）*重複障害の場合は主障害で記入

	知的障害	身体障害	精神障害	その他	計
男性	9	2	2	0	13
女性	7	1	1	0	9
計	16	3	3	0	22

○ 生産活動

当所における日中活動支援の主軸となるものは、利用者の「働く」活動への参加支援である。利用される方が、働く活動によって自己実現や生きがいを見出し、社会的役割や他者（仲間）との交流を実感できるよう個別のニーズに寄り添い支援した。

1) 下請作業（企業・団体からの受注作業）

作業内容	個別情報			
	会社名等	所在地	平成28年度売上げ	開始年
1) 菓子箱折、組立結束	㈱三協紙器	清水町	853,990円	平成3年
2) 点字名刺作製	NPOウォータービジョン	清水町	432,385円	平成12年
3) 鋳物・鋳型用具の作製	㈱木村鋳造所	清水町	815,303円	平成14年
4) レトルト製品包装	㈱山中兵衛門商店	清水町	6,066円	平成24年
5) トイレットペーパー	清水町	清水町	82,758円	平成25年
6) 町立図書館書架清掃	清水町	清水町	96,120円	平成25年
7) 小麦袋清掃	(有)小池商店	沼津市	960円	平成27年
8) アルミカップ包装	河内アルミ	三島市	180,032円	平成27年
9) お土産シール剥し	㈱ニッタクス	三島市	35,173円	平成27年
10) 菓子箱折	(有)鈴木印刷製作所	伊東市	11,330円	平成28年
11) 化粧品箱折	就労継続B型事業所さくらさく	沼津市	12,000円	平成28年
12) キーホルダ作製	(有)やまざき	熱海市	5,000円	平成28年
13) チラン折	㈱ビックハピネス	清水町	2,000円	平成28年
計			2,533,117円	

2) 自主作業（作業所自主製品の製造・販売）

作業内容	平成28年度売上げ
1) 縫製品 (ポーチ、巾着バック、絵本バック、子育て支援センター用名札、刺し子等)	1,706,823円
2) 固形石鹼（仕入包装）	

※ 自主製品の販路

店舗販売	①喫茶室“せせらぎ”店内	
	販売委託	②“とも”沼津店（沼津商連会館ビル内）
		③清水町こども交流館
		④清水町役場無人販売
		⑤清水町子育て支援センター
地域イベント 参加出店 (地域交流事業)	4月16日(土)	・春のみどり祭り（総合運動公園）
	5月4日(水)	・ブックフェア
	6月26日(日)	・清水町舞踊まつり
	7月23日(土)	・長沢区夏祭り
	9月25日(日)	・福祉講演会&映画上映会
	10月20日(木)	・西幼稚園 PTA バザー
	10月30日(日)	・町子連フェスティバル出店
	11月20日(日)	・ふれあい広場
	11月26日(土)	・農業祭、消費生活展（清水町役場駐車場）
配布品・記念品	①南駿農業協同組合（ポーチ・縫製品）	4月
	②産業観光課湧水祭り（手ぬぐい・縫製品）	7月
	③ふれあい広場賞品（絵本バック・縫製品）	11月
	④障害者週間該当キャンペーン配布品（縫製品）	11月
	⑤狩野川流域下水道協会（手ぬぐい/絵本バック・縫製品）	11月
	⑥新1年生記念品（絵本バック・縫製品）	3月
	⑦くらし安全課（黄色いハンカチ・縫製品）	3月

3) 喫茶室“せせらぎ”出店

①店舗開店数（来客者延人数）	48日（675人）
②役場ワゴン出店販売	1回
③定例民児協（3役会含）への出張販売	15回
④地域イベントへの参加出店	9回
⑤教育委員会出張販売	1回
⑥郡社協研修会出張販売	1回
平成28年度売上げ	487,150円

○ 利用者工賃

作業収入より原材料等の必要経費を控除し以下の方法により支払いをした。

- ・月工賃 毎月1回（月末締め翌月10日払い）
- ・ボーナス 年3回（8月、12月、3月） 作業収入の状況により調整して支給した。

平成28年度利用者への工賃支払い総額	3,249,950円
--------------------	------------

○ 選択活動

利用者が自ら選択し主体的に参加する趣味的余暇活動を支援した。

活動内容	実施回数	実施場所
①パソコン学習	22回	柿田川作業所
②音楽療法	14回	柿田川作業所
③スポーツ&ストレッチ	8回	清水町体育館
④イチゴ狩り	1回	三島市
⑤ランチプレート	3回	柿田川作業所
⑥東部ふれあいスポーツレク	1回	天城ドーム
⑦クリスマスパーティー	1回	柿田川作業所
⑧利用者本人部会	1回	シダックス清水町

○ 社会体験活動

利用者の経験のフィールドを広げるため、社会体験レクレーションを実施した。

実施活動名	実施月日	場所
企業の就労の現場見学と鳥とのふれあい	6月17日	大塚製菓と掛川花鳥園
企業の就労の現場見学とアイスづくり体験	11月4日	長泉エフピコと酪農王国オラッチェ

○ 地域交流活動

柿田川作業所に期待される機能として、利用者の地域社会への参加と交流が求められている。そのため、特別支援学校や看護学校等に福祉体験の場と民生児童委員、清水町女性連絡会や地元中学生など地域の方々にボランティア活動体験の機会を提供し、さらに地域イベントへの積極的な参加と自主企画の地域交流イベントを実施した。

団体	ボランティア内容	実施日・回数
①清水町民生児童委員協議会	下請作業・縫製作業等	毎月第3金曜日(3名)
②清水町民生児童委員協議会 障害者福祉部会	絵本バック作製等	11回(各3~4名)
	春の社会体験同行、交流	6月17日(7名)
	秋の社会体験同行、交流	11月4日(4名)
③清水町民生児童委員協議会 地域福祉部会	調理実習手伝い、交流	毎月第4木曜日(4名)
④清水町女性連絡会	絵本バック作成等	19回(各5~6名)
⑤教職員(清水町内)	初任者研修	8月4日~5日 (初任6名)
⑥教職員(清水町内)	10年研修	8月4日~5日 (10年1名)
⑦清水中学校・清水南中学校	夏の体験学習	8月18・19・23日 (清中延べ5名・南中延べ2名)
⑧清水中学校特別支援学級	職場体験	6月23日(6名)
		10月18日(5名)
		10月19日(7名)

		2月16日（6名）
⑨清水南中学校	福祉の職場体験	10月20日（3名） 10月21日（3名）

*地域交流イベントの開催

イベント名	実施日	会場	参加・来場人数
福祉講演と映画上映会	9月25日（日）	清水町地域交流センターホール	約200名
福祉講演会は、日本社会事業大学の佐藤久夫さんを講師に迎え、昨年4月に施行された『障害者差別解消法』について、身近な事例紹介により“差別”や“合理的配慮”などの概要を障害者福祉に関わる地域の方々と学んだ。また、宮西達也さん原作の映画『あなたをずっとあいしてる』を上映し、100名近い親子が鑑賞され、深い感動の中に“共に生きる”意味を考えるきっかけになった。			

○ 生活技能訓練

利用者が地域生活を継続するために必要な生活技能を高めるための指導援助を実施した。

①調理実習	3名ずつ、毎月第3木曜日に月交代で実施した。
-------	------------------------

○ 通常時活動プログラム

8:30	常勤職員出勤
8:30～9:20	送迎、環境整備、活動準備、休みの連絡受取
9:25	職員打合せ（出欠確認等）
第1作業室・作業棟 9:30～11:30	生産活動 相談支援 *活動グループごとにティータイム（15分）
第2作業室 9:30～12:30	生産活動 相談支援 *活動グループごとにティータイム（15分）
第1作業室・作業棟 11:30～12:30	昼食
第2作業室 12:30～13:30	昼食
第1作業室・作業棟 12:30～15:00	生産活動 相談支援 選択活動（余暇交流・外出・学習・趣味等）
第2作業室 13:30～15:00	生産活動 相談支援 選択活動（余暇交流・外出・学習・趣味等）

15 : 00～16 : 00	帰宅送迎
15 : 00～16 : 00	生産活動継続 *希望される方のみ、作業状況により実施。 活動記録、ケース記録等の記入、作業工程の準備

○ 会議・集会・研修等

①会議

支援会議（ケース会議）

個別ケース検討及び活動プログラムについての話し合いを実施した。

毎月1回・・・支援会議の開催

毎日9時20分～・・・職員5分ミーティングの実施。

②研修

月 日	会議・研修名	会 場
7月4、15、28日8月3日、9月7日	相談支援従事者初任者研修	グランシップ 他
11月8日、12月2、6日	サービス管理責任者研修	グランシップ 他
8月2日	高次脳機能障害基礎研修	
8月15、16、22、30日	虐待防止・権利擁護研修	静岡市静岡労政会館 他
9月30日	目標工賃達成加算過誤請求説明会	静岡県庁
1月27日	障害児者福祉事業者説明会	静岡市民文化会館
2月14日	水害土砂災害説明会	沼津市民文化センター
3月9日	食品衛生責任者養成講習	沼津市労政会館

○ 通信『柿田川通信』の発行

選択活動の紹介や月間予定表、福祉のニュースを載せた通信を配布した。

○ 保護者会

利用者の家族で構成される保護者会の活動を支援した。

定期総会	5月25日
定例会・懇談会	7月15日・9月23日・11月11日・12月16日

7. 清水町障害者総合相談支援事業（町受託事業）

柿田川作業所・相談室は、障害のある人の福祉に関する様々な問題について、障害のある人やそのご家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービスの利用支援等を行うほか、障害年金などの社会保障制度活用のために必要な助言を行った。

また、こうした相談支援事業を効果的に実施するために、駿豆地区障害者自立支援協議会に参加し、地域の関係機関と情報共有し連携を深めた。

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合には、障害者（児）の自立した生活を支え、障害者（児）の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケースマネジメントによりきめ細かな相談支援を行った。

総合相談	障害のある方やご家族の相談に応じ、情報提供や助言、事業所との連絡調整を総合的に実施。 2,386 件 （内訳は下記別表参照）
サービス等利用計画の作成	障害福祉サービスを適切に利用することができるよう、障害者のニーズや置かれている状況を勘案し、利用計画を作成。 89 件
継続サービス利用支援	町が定めたモニタリング期間に基づき、利用者のニーズや環境の変化に応じて福祉サービスに反映。 139 件
サービス担当者会議の実施	課題解決に向けた支援内容やそれぞれの役割、今後の支援の方向性を確認。 89 件
自立支援協議会への参加	地域の実情に応じて効果的に相談支援事業を実施するため、関連する諸機関とのネットワークの構築。困難事例検討。 運営委員会 12 回 全体会 2 回 一般報告会 1 回
権利擁護	判断能力が不十分で、金銭管理に不安がある方に対して成年後見制度を紹介し、利用支援を行う。 0 件
研修	障害特性や障害者の生活実態に関する知識と援助技術の研鑽及び相談支援専門員の資格更新のための研修、虐待防止権利擁護研修に参加。 2 名 計 2 日間

<別表> 総合相談件数内訳

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	198	170	193	259	229	190	173	164	227	236	170	177	2,386
人数	49	31	44	48	45	42	38	44	48	46	38	54	527

8. 地域活動支援センターせせらぎ（町受託事業）

清水町内在住の障害のある方に、喫茶業務・簡易軽作業等による少人数環境での生産活動の場と機会を提供し、他者との交流などを通じて社会的居場所の機能を担った。

また、利用者の地域生活に係る相談を、相談支援事業所や障害福祉サービス事業所と連携して行った。

○利用者の状況

登録利用者は7名であり、障害内訳は、精神科通院をしている知的障害者（療育手帳所持者）が5名、精神障害者（精神保健福祉手帳所持者）が1名、知的障害者が1名であった。

○開所日 火曜日～金曜日（年末年始、国民の祝日は除く）

ただし、月曜日、生活相談のみ対応したケースがあった。

○事業実施場所・時間

	福祉センター改修工事前 平成28年4月～平成28年6月	福祉センター改修工事中 平成28年7月～平成29年3月
事業の実施場所	喫茶せせらぎ (福祉センター)	柿田川作業所・相談室
開所時間	10:00～15:00 (14:00～15:00は生活相談のみ)	13:00～16:00

○月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	16	14	18	12	18	17	16	17	16	17	16	19	196
利用者人数	3	4	4	3	2	3	3	3	3	2	2	2	34
利用延人数	15	16	19	3	2	14	30	28	30	26	19	26	228

○活動支援別実施回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生産活動	4	3	4	0	0	11	29	27	29	14	0	0	121
生活相談	1	1	1	1	1	3	1	1	1	0	0	0	11
生産活動 +生活相談	10	12	14	2	1	0	0	0	0	12	19	26	96

生産活動（働く活動）については、4月～6月の期間は「せせらぎ」での喫茶業務、7月～3月は「柿田川作業所・相談室」での簡易軽作業（袋詰め等）を支援した。また、生産活動に従事した6名の利用者には、本人支給金（工賃）を支給した。生活相談においては、障害福祉サービスの利用・就労・地域生活のニーズについて、当センターの指導員ほか相談支援事業所の相談員が対応し、家族との関わり方を含む人間関係の悩みや不安を個別に傾聴し助言した。

9. 介護保険サービス事業

(1) 居宅介護支援事業

○ 居宅介護支援事業

指定居宅介護支援事業所として、介護者及びサービス提供事業所との連絡調整、居宅介護計画（ケアプラン）の作成等を行い国保連へ給付管理及び支援費請求を行った。

○ 給付管理数・支援費請求数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
ケアマネA	34	37	39	38	35	33	33	31	32	34	32	34	412
ケアマネB	30	33	35	35	34	36	37	38	38	35	36	35	422
合計	64	70	74	73	69	69	70	69	70	69	68	69	834

○ 介護予防担当数・請求数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
ケアマネA	6	4	5	5	5	4	5	5	6	7	7	7	66
ケアマネB	12	13	12	12	12	11	10	9	9	10	11	11	132
合計	18	17	17	17	17	15	15	14	15	17	18	18	198

○ 加算の請求数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
初回加算	2	3	5	0	0	3	3	2	3	4	2	0	27
退院・退所	0	1	0	1	0	2	2	1	0	0	1	2	10
二段階変更	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	0	5
入院情報提供	2	3	5	2	3	1	4	2	0	0	3	2	27

○ 研修会

研修内容	研修日
・ケアマネジャー連絡会	第3火曜日
・介護保険サービス提供事業者説明会	10月18日

(2) 訪問介護・介護予防訪問介護（ホームヘルプサービス）事業

○ 訪問介護事業

介護保険の指定訪問介護事業所として身体介護、生活援助のサービスを提供した。

○ 介護予防訪問介護事業

介護保険の指定介護予防訪問介護事業所としてサービスを提供した。

○ 訪問介護事業の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数	16	15	17	16	16	15	
派遣延べ回数	236	196	201	169	188	212	
派遣時間	199：17	172：43	174：42	151：59	169：39	179：08	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
利用者数	15	15	17	15	17	19	193
派遣延べ回数	195	230	211	209	222	273	2,542
派遣時間	165：55	195：29	176：27	176：05	197：07	232：41	2,191：12

○ 介護予防訪問介護事業の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数	19	19	18	19	19	19	
派遣延べ回数	136	139	118	131	144	130	
派遣時間	141:18	140:57	117:48	131:33	144:25	134:03	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
利用者数	18	19	19	17	18	17	221
派遣延べ回数	122	127	116	107	107	119	1,496
派遣時間	127:27	131:57	124:03	111:47	111:56	123：24	1,540：38

○ ホームヘルパー勤務体制

月	常勤職員	非常勤職員	登録ヘルパー	月	常勤職員	非常勤職員	登録ヘルパー
4	4	0	2	10	5	0	2
5	4	0	2	11	5	0	2
6	4	0	2	12	5	0	2
7	5	0	2	1	5	0	2
8	5	0	2	2	5	0	2
9	5	0	2	3	5	0	2